

「寿限無」

昔、あるところになかなか子どもが生まれない夫婦がいました。

でも、ある時、ようやくかわいらしい男の子が産まれました。

お父さんとお母さんはとても喜んで、この子が元気で長生きするように、と偉いお坊さんに頼んで、長生きできそうな名前を付けてもらいました。

お坊さんは一生懸命考えて、ありがたい意味や長生きした人の名前をくっつけて、長〜い名前を男の子につけてくれました。

「じゅげむじゅげむ ごこうのすりきれ かいじやりすいぎよのすいぎょうまつ うんらいまつ ふうらいまつ くのねるところにすむところ やぶらこうじのぶらこうじ ぱいぼぱいぼのしゅーりんが ん しゅーりんが んのぐーりんたい ぐーりんたいの ぽんぽこぴーの ぽんぽこなの ちょうきゅうめいのちょうすけ」

お父さんとお母さんは、あまり長い名前なのでビックリしましたが、それでも一生懸命覚えて、子どもの名前が言えるようになりました。

「じゅげむじゅげむごこうのすりきれかいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつ ふうらいまつくのねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぼぱいぼのしゅーりんが んしゅーりんが んのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ.....ごはんですよー！」

「じゅげむじゅげむごこうのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくのねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぼぱいぼのしゅーりんが んしゅーりんが んのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ.....お出かけしますよー！ あら、いないわ。どこに行ったのかしら？ じゅげむじゅげむごこうのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくのねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぼぱいぼのしゅーりんが んしゅーりんが んのぐーりんたいぐーりんたいのぽん

ぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……どこなのー！ おいていっちゃうわよー！」

さて、その男の子は、長いありがたい名前のおかげか、病気も怪我もすることなく、すくすくと元気に育ちました。やがてお友だちもできて、一緒に外で遊ぶようになりしました。ある時、ジュゲム君とお友だちがケンカになってしまって、ジュゲム君がお友だちの頭をぽかっとなぐってしまいました。お友だちの頭に大きなたんこぶができました。お友だちは泣きながらジュゲム君のお母さんのところへ言いつけに行きました。

「じゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぽぱいぽぱいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……のおかあさーん、えーんえーん、じゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぽぱいぽぱいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……がねえ、ひどいんだよー！ えーんえーん」

「あらまあ、うちの じゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぽぱいぽぱいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……がどうしたって言うの？」

「えーんえーん。じゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじぱいぽぱいぽぱいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんたいぐーりんたいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……がねえ、ぼくのあたまをねえ、うえーんうえーん」

「泣いていたら分からないわよ。うちのじゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじばいぽばいぽばいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんだいぐーりんだいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……がいったいどうしたっていうのさ」

「あのねえ、じゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじばいぽばいぽばいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんだいぐーりんだいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……が、ぼくとケンカになってねえ、そいでねえ、じゅげむじゅげむ(略)……が ぼくの頭をポカッとなぐってねえ、おっきなこぶができたんだよお」

「なんですって。うちのじゅげむじゅげむごころのすりきれいじやりすいぎよのすいぎょうまつうんらいまつふうらいまつくうねるところにすむところやぶらこうじのぶらこうじばいぽばいぽばいぽのしゅーりんがんしゅーりんがんのぐーりんだいぐーりんだいのぽんぽこぴーのぽんぽこなのちょうきゅうめいのちょうすけ……があんたの頭をなぐって、おっきなこぶを作ったですって？ どれどれ。あら、こぶなんてないじゃないの？」

「おばちゃん。名前が長すぎるから、もうこぶが引っ込んじゃったよ」